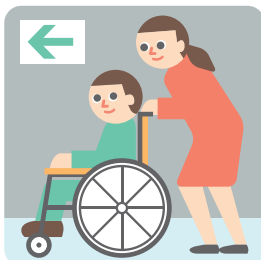


今すぐチェック! 災害時のユニバーサルマナー

● 車いす利用の方が避難所で困ること



移動のサポートが必要

階段など、持ち上げて運ぶ際は3名以上で安全に行う。

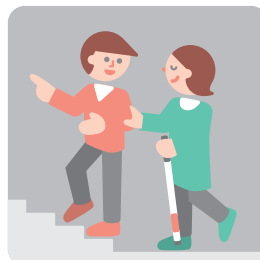
広いスペースが必要

特にトイレや着替えの際は広めの空間を確保する。

長時間同じ姿勢でいると危険

床ずれの原因になるため、寝返りの介助やクッションの用意を!

● 視覚障害のある方が避難所で困ること



誘導のサポートが必要

視覚障害者の半歩前に立ち、腕を持ってもらい歩きます。

掲示板の情報が読めない

声に出して、読み上げて情報伝達を行います。

周囲の状況がわからず不安

困っていても助けを求められないことも。迷ったら声がけ!

● 聴覚障害のある方が避難所で困ること



館内放送が聞こえない

放送の内容は紙に書き出して、掲示する。

危険の察知がしづらい

車のクラクションや声に反応しづらいので、注意して見守る。

周囲の状況がわからず不安

筆談、口話(口の動きをゆっくり見せる)など別の方法で伝達。

● 知的障害のある方が避難所で困ること



複雑な説明が理解しづらい

ゆっくり丁寧に、具体的にシンプルな説明をする。

否定・注意がわからない

「~したらだめ」ではなく「~しましょう」と行動を促す。

パニックを起こしやすい

いきなり体に触れたりするのではなく、優しく声をかける。

● 精神障害のある方が避難所で困ること



環境の変化に馴染めない

ついたてや静かなスペース等、落ち着いた居場所を確保する。

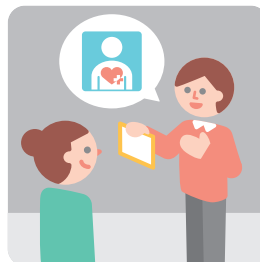
コミュニケーションが苦手

不安やストレスが原因で、一人で抱え込んでしまう方も。

パニックを起こすことがある

優しく声をかけ安全な場所に移動するか、落ち着くまで見守る。

● 内部障害のある方が避難所で困ること



外見からは理解を得づらい

本人と必要なサポート方法をていねいに確認する。

体調の変化や体力低下が激しい

横になれる場所や、静かなスペース等を用意する。

医療器具や薬剤が必要な方も

人工臓器を利用している方もいるので、必要物資を要確認。

フェイスブックおよびツイッターの
HEART & DESIGN FOR ALLの
公式アカウントで発信中!

 Heart & Design for ALL
 @HDFA_TOKYO

Project by  HEART & DESIGN FOR ALL ×  MIRAIRO